



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>



シブヤの庭・3月

朝晩はまだまだ寒い毎日ですが、「春一番」が吹き、冬を地中で過ごした虫が、地上に這い出してくると言われる「啓蟄」も過ぎ、太陽の暖かさに♪もうすぐ春ですネ...♪と鼻歌が出そうな季節、3月となりました。一方、スギ花粉が本格的に飛散し始め、花粉症の人にとっては憂鬱な季節の到来かも知れません。

ともあれ、もうすぐ桜の季節。日本気象協会の桜の開花予想では、名古屋の開花は3月27日頃(平年26日)と平年並み。今年の入学・入園式は満開の桜の下で...ということになりそうです。

桜を愛で、「花見酒」「祝酒」を堪能するため、体調を整えておきましょう。

内部監査が3月21日から4月5日の日程で実施されます。内部監査の結果と「経営計画書」の方針に従い、当社を取巻く「内外の課題」「リスク及び機会」を的確に捉え、新年度の活動の中でPDCAを確実に回し、よりよい「環境マネジメントシステム」を作り上げて行きましょう。

【ISO14001掲示板】

日本品質機構のHP、「ISO 14001:2015規格の概要とJQAの審査の視点」から今月は、**項番7. 支援**について掲載します。社員皆さんもより理解を深め、内部監査、外部審査等、今後のISO活動のために、HPにアクセスしてみたいはかがでしょうか。

★☆☆ISO 14001:2015規格の概要とJQAの審査の視点

項番7. 支援 力量の対象や内外のコミュニケーションが強化

項番7(支援)は、EMSを確立、実施、維持し、かつ継続的に改善するために組織を支えていくための必要となる**資源や力量、コミュニケーション、文書化した情報**を管理することを求めており、EMSが意図した目的を効果的に達成できるようにサポートする、という意味で「支援」としています。

項番7.1(資源)は、EMSに必要となる**資源を決定し、計画的に配分する**ことが意図されています。

資源の妥当性に関しては、項番9.3(マネジメントレビュー)の考慮事項のひとつであり、それらの妥当性が評価され、適切にマネジメントレビューへ情報提供されていることが必要となります。

また、2004年版では、力量の対象者として「環境に著しい影響の原因となる可能性をもつ作業を行う人に対して力量を持つことを確実にする」と示されていましたが、2015年版では、そのような人々に限定するのではなく、EMSの意図した成果の達成に不可欠な機能をマネジメントする人や、そうした達成に不可欠な役割を担う人にも適用され、力量を決定すべき対象者が従来から拡大されています。

EMSを効果的に推進し、外部からの意見等に対して積極的に取り組むために、組織の内外のコミュニケーションの仕組みを持つことは極めて重要であるとの観点から、

項番7.4(コミュニケーション)では、内部及び外部コミュニケーションの双方を強調した、透明であり適切、信頼性のあるコミュニケーション戦略が展開されることが意図されています。

項番7.5(文書化した情報)では、従来の項番4.4.4(文書類)、項番4.4.5(文書管理)、項番4.5.4(記録の管理)で示されていた文書や記録が「文書化した情報」という用語に一元化され、IT化の進展に伴い、紙以外の媒体による情報管理の必要性を反映したものとされています。

◎審査の視点とチェックポイント

EMSの有効性を維持し、環境パフォーマンスを向上させるために、組織によって決定、配分された資源や力量、内外のコミュニケーションがどのように寄与しているかについて確認します。また、コミュニケーションに関する要求事項は、項番4.3(環境マネジメントシステムの適用範囲の決定)や項番5.2(環境方針)、項番6.2.1(環境目標)、項番8.1(運用の計画及び管理)など、2015年版のISO 14001規格全般にわたっており、コミュニケーションに関連する要求事項のつながりについても審査します。

★現場における留意事項

項番7.2(力量) 例えば、特定の個人がいないと仕事が回らないといったことは、環境マネジメントシステム上、好ましいことではありません。ある日突然、欠員が生じて、代わりの人がすぐに引き継げるように伝承の仕組みを整えておく必要があります。

項番7.3(認識) マネジメントシステムの信頼性を高めるために、自らの業務に伴う環境影響や自らの貢献についての認識のみならず、順守義務やEMS要求事項に適合しないことが意味することについて認識されていることが重要です。

項番7.4(コミュニケーション) クレーム、行政対応、緊急事態発生時の外部コミュニケーションの重要性はますます増していますが、投資家や報道などのグループを外部コミュニケーションの対象とする認識は低かったのではないのでしょうか。広い視点から整理が必要です。

項番7.5(文書化した情報) 事務局が文書化した情報を改訂したにもかかわらず、最新版が現場で保持されていない状況が従前からありましたので留意してください。

【内部監査】

2015年規格での1年間の活動の確認となる内部監査を行います。

今期の部門目標の達成状況と、その結果を踏まえて、改善点を見出し、より良いプロセスを確立するための監査です。

前回内監査、外部審査での指摘事項に対する改善状況も確認します。



- 監査後チームリーダー会議
日時 2017年4月10日 13時00分～
場所 本社会議室
- マネジメントレビューレビュー
日時 2017年4月18日 10時00分～12時00分
場所 本社会議室

【内部監査日程】 3月21日～4月5日

被監査部門	監査日	監査リーダー	監査員
静岡支店	4月4日	羽柴 孝行	李 永平
浜松支店	3月28日	脇田 文樹	吉田 恵
岐阜支店	3月24日	安藤 秀治	竹内 寿
三河営業所	3月29日	林 欣也	木村 恒嘉
管理責任者	3月24日	桑原 孝悟	渡邊 敦洋
技術部	3月22日	林 昌弘	高橋 智一
営業企画部	3月30日	北川 克巳	杉山 貴英
総務・財務・管理	3月24日	中村 悟	甲 和之
小牧事業所	3月24日	巽 芳明	玉田 康弘

※詳細日程は監査リーダーと被監査部門で打合せください。